

日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会  
自然地理学・環境防災教育小委員会  
(第25期・第2回)  
議事要旨

日時：2021年5月23日（日）14:00～15:00

場所：オンライン会議（Zoom使用）

出席者：春山成子、阿部彩子、奥村晃史、久保純子、篠田雅人、鈴木康弘、増田 聡、須貝俊彦、宇根 寛、木村圭司、日下博幸、小岩直人、後藤秀昭、齋藤 仁、南雲直子、丹羽雄一、長谷川直子、八反地 剛、早川裕弐、堀 和明、鈴木毅彦、山縣耕太郎、山口 勝、山中 勤、山野博哉

欠席者：近藤昭彦

#### 議事

##### （1）前回議事の確認

- ・前回議事録が承認された。

##### （2）周辺状況

・「気候変動適応と自然地理学・環境防災教育」と題して、気候変動適応に関する取り組みと自然地理学・環境防災教育との関連について山野委員から紹介され、議論した。また、気候変動適応に関する教材が紹介された。

・気候変動は地球規模で生じるが、地域ごとにその受け方は異なり適応策の推進には自然地理や環境防災の知見が必要、また、気候変動の影響評価はこれまで主に地理以外の分野主体で個別的に進められてきたが、地理にはそれらを横断的に見る力がある、といった意見があった。

・気候変動影響評価の不確実性や紙面の制約を考えると、高等学校の教科書に気候変動について詳しく記載することは難しい。そこで、副読本や現在準備を進めている教材資料集に入れるのが良いのではないかという意見があった。

・不確実性への対応は地震災害でも共通しており、SDGsの重要課題でもある。主体的な学びを推進するために、不確実性についても考慮し積極的に教える方法を検討すべきではないかという意見もあった。

・気候変動と自然地理学・環境防災教育との関係については、今後も本委員会で継続して議論することとした。

##### （3）活動方針

・地理総合の必修化に向けた各高等学校の準備状況や、教員に懸念されている事項について木村委員から報告があった。歴史を専門とする教員などを、どのように支援していくか、さ

らに本委員会で議論を継続することとした。

(4) 教材資料集作成

・教材資料集の担当者を確認し、未提出項目については夏頃を目途に執筆・提出を進めることを確認した。また、上記(2)における議論に基づき、気候変動に関する項目も追加することとした。

以上